

（一社）大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム 令和元年度 第2回ナノ理工学情報交流会 「人生100年時代に求められるヘルステック」

本年度第2回目のナノ理工学情報交流会を開催いたします。産学双方の意見交換の場として、コンソーシアム会員をはじめ、ご関心をお持ちの多数の方々のご参加を歓迎いたします。

主催：（一般社団法人）大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム
共催：大阪大学ナノサイエンスデザイン教育研究センター、
大阪大学産業科学研究所産業科学ナノテクノロジーセンター

開催日時： 令和元年9月9日（月） 13:00～17:20

開催場所： [けいはんなプラザラボ棟10F「RDMM支援センター室」](https://www.kri.or.jp/rdmm/information_map.html)
(https://www.kri.or.jp/rdmm/information_map.html)
大阪大学豊中キャンパス 文理融合型研究棟3階305号室
ナノサイエンスデザイン教育研究センター・セミナー室 より遠隔配信

開催趣旨： 世界の先進各国においては、高齢化の波が押し寄せ、特に我が国においては類を見ない超高齢化社会への対応が急がれている。このような状況の中、医療分野においては、健康寿命の延伸に必要となる医療機器や病気診断の技術が進展している。本交流会では、医療・ライフサイエンス分野における今後の展望を鳥瞰すると共に、より高度な診断技術やそれらに必要なナノマテリアル、バイオデバイス等の研究開発に関して紹介する。

プログラム： 次ページをご参照下さい。

費用： 「けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム」会員は無料です。

参加登録： 「けいはんなR&Dイノベーションコンソーシアム」会員の方は下記のURLからお申込みください。

https://www.kri.or.jp/contact/2019nano_2.html

非会員の方はお手数ですが、下記の主催事務局にお問い合わせ下さい。

大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム事務局

E-mail: nano-cons@nanoscience.or.jp

登録締切： 令和元年9月4日（水）

問い合わせ： 関西文化学術研究都市推進機構 RDMM支援センター (rdmm@kri.or.jp)
事務局 古久保 (TEL0774-98-2238)

[講演プログラム]

13:00 13:10	開会挨拶 大阪大学 ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム 代表理事 伊藤正
13:10 14:10	医療機器業界のこれからとテルモが目指す価値づくり 粕川 博明 氏 (テルモ株式会社・執行役員 CTO) “患者中心の医療”、“価値に基づく医療”へと大きなパラダイムシフトが起きる中、デジタル化や異業種参入などで激変する医療機器業界の最新動向を解説し、当社が目指す“新しい価値創出活動”について、研究開発の取組み事例を中心に紹介する。
14:10 15:10	尿中microRNA解析によるがん診断 安井 隆雄 氏 (名古屋大学大学院・工学研究科 准教授) ナノ空間制御技術を駆使し、がん細胞が放出する尿中の微量な細胞外小胞に含まれるmicroRNAを効率よく回収できる高機能なナノ空間デバイスの開発を進めてきた。 本講演では、当該技術にmicroRNA検出技術と機械学習解析技術を組み合わせ、高診断率・高特異度・高感度ながん診断への展開について紹介する。
15:10 15:20	(休憩)
15:20 16:20	ナノ・マイクロ足場材料を基盤とする組織工学 松崎 典弥 氏 (大阪大学大学院・工学研究科 准教授) 再生医療分野において、生体外で3次元的な組織・臓器モデルを構築できれば、移植材や薬効・安全性試験モデルに応用できると期待されている。 我々は、ナノ/マイクロメートルの生体適合性足場材料を作製することで様々な三次元組織モデルを作製し、その応用を研究してきたので紹介する。
16:20 17:20	ナノ材料、ナノデバイスを用いたバイオセンサーの開発と生医学応用 民谷 栄一 氏 (大阪大学大学院・工学研究科 教授) ナノ材料の有するナノ機能特性を生かした電気化学、フォトニクスデバイスと生体の分子識別機能材料を組み合わせたナノバイオセンサーの開発動向とそれらのバイオメディカル応用について紹介する。 特に、局在プラズモン共鳴デバイスや印刷電極を用いた遺伝子センサー、免疫センサー、細胞センサーなど種々のバイオセンサーの開発事例を紹介する。

オーガナイザー:コンソーシアム企画運営委員

沖野 剛史	(株)東芝
小澤 伸二	(株)カネカ
前田 和幸	住友電工(株)
鈴木 啓悟	(株)村田製作所
山本 宏	BASFジャパン(株)
若林 信一	パナソニック(株)
伊藤 正	大阪大学
藤岡 透	大阪大学